

競技に関する注意事項

1 競技会全般に関して

1. 本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および、本大会申し合わせ事項により実施する。また、競技者は日本陸連「競技会における広告及び展示物に関する規定」を適用し、違反する場合は注意を行う。本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、1 階正面玄関ウッドデッキに設ける。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。出場種目が重複し、競技中に招集時間が設定されている場合は、最初の招集の際に申し出る。
 - (3) 招集が完了した後、スタート 10 分前にはスタート地点及び競技場所に集合すること。
4. 事故・怪我の発生について
主催者は、競技会中やウォーミングアップ中などに発生した事故・怪我について、応急手当は行うがその責任を一切負わない。
5. ウォーミングアップについて

(1) 本競技場

- ①本競技場内でのウォーミングアップは競技および運営に支障のない範囲で行って良いが、逆走は禁止する。競技中の選手に助力となるような行為やホームストレート、インフィールドでのウォーミングアップは禁止とする。朝のウォーミングアップについては、準備が完了した後、第 1 種目開始 15 分前まで行うことができる。その際、2 日目に関してはホームストレート 6～9 レーンはハードルを設置するので、十分注意して練習すること。
- ②ハードル種目については、下記の通りホームストレートにハードルを設置する。

種 目	時 間	備 考
男女ハードル予選	10：35～11：15 (女子 800m 競技中)	6・7 レーンに女子のハードル、8・9 レーンに男子のハードルを設置する。
男女ハードル決勝	12：45～13：25 (男子 800m 競技中)	

(2) ウォーミングアップ場 [野球場]

- ①終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
 - ②跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用した練習は実施できない。
 - ③他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。
 - (3) 施設内のジョギングコースなどについて 他の利用者や通行車両などに迷惑をかける行為は行わない。また、事故が無いように注意する。
6. 施設設備の使用について
 - (1) 1 階正面玄関ウッドデッキを控え場所として使用しない。(緊急時には、避難場所として使用する。)
 - (2) 各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
 7. 写真及びビデオ撮影について
 - (1) 撮影をする際には、本部にて 200 円を持参し、撮影許可証を受け取ること。ただし団体関係者につ

いては、団体関係者と識別できる服装であれば許可は不要とする。

- (2) 撮影許可証は必ず、周囲の人物から常時確認できるように、首からさげる。
- (3) 個人及び保護者の了承がない撮影を禁止とする。
- (4) 下記のエリアを撮影禁止とする。
 - ・グラウンドレベルでの撮影
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方と着地前方
 - ・走高跳のマットに向かった正面（クリアランス動作中）
- (5) スターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。
- (6) 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。
- (7) コーチングエリアは設けない。コーチは(1)～(4)を厳守し、競技規則に合わせた行動をとる。
- (8) 撮影終了後は、撮影許可証を本部へ返却し、保証金 200 円を受け取る。

2 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
- (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了 60 分前までに招集所に提出する。用紙は招集所に準備する。

2. 競技について

- (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
- (2) 競技者の変更は、いっさい認めない。
- (3) ハードルの規格は以下のとおりとする。

	高さ	台数	スタート～1 台目	ハードル間	10 台目～フィニッシュ
男子 110mH(0.914m/9.14m)	91.4cm	10 台	13.72m	9.14m	14.02m
女子 100mH(0.762m/8.00m)	76.2cm	10 台	13.00m	8.00m	15.00m

- (4) フィールド競技については以下の通り行う。

- ① 長さを競う種目の試技は 3 回の試技後、ベスト 8 を選出し残りの 3 回の試技を行う。
- ② 走幅跳、棒高跳で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカー 2 個までとする。
- ③ 走幅跳は 2 ピット使用して行う。
- ④ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以降3cm
女子走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	以降3cm	
男子棒高跳	—	2m00	2m20	2m40	以降10cm				
女子棒高跳	—	1m80	以降10cm						

※男女棒高跳の練習の高さは定めず、選手の希望によって行う。

※天候その他特別な状況が生じた場合に限り、審判長の判断により変更されることがある。

- (5) 記録の掲示は事務所入り口付近で行う。上位者のアナウンス発表も併せて行う。
- (6) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや TR6.3.2 で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。
- (7) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

3. 競技用靴について（競技規則 TR5.2 参照）

スパイクピンの長さは 9 mm 以内とする。ただし、走高跳は 12mm 以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は 4 mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は 11 本以内とする。

ランニングシューズで出場する場合、靴底の厚さはすべての種目で 20 mm 以内とする（TR 5）。使用するシューズが適正であるかは、各自で WA のシューズリストを確認しておくこと。

*WA シューズリスト → [LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES](#)

違反の場合は、失格扱いとなる。

4. トラック競技の決勝進出者について

- (1) 進出者の発表は、掲示およびアナウンスで行う。
- (2) 進出者のプラスアルファについては、記録のよいものから決定する。
- (3) 進出者の決定において同記録であった場合は、1000 分の 1 秒まで考慮して決定する。それでも決定できない場合は、抽選を行い決定する。

5. 表彰について

- (1) 各種目の 1～3 位には賞状を授与する。
- (2) 本部前にて表彰式を行うため、入賞者は成績発表後、速やかに本部へ来ること。

6. 競技器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳の「ポール」は、各自持参したものを使用する。

3 その他

- 1. スタンドへの出入り口はスタンドに 1 か所設置する。開門時刻は、23 日は 8：30、24 日は 8：00 とする。
- 2. 各団体の控え席や待機場所は、スタンド以外の競技場内に設置できない。
- 3. プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、学校受付後、本部に申し出る。
- 4. 応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部席において処置を行う。
なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- 5. 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。